

環境保護委員会
2019年6月17日、月曜日

日本国際協力機構（JICA）インド事務所長
松本勝男様

件名：グジャラート州とマハラシュトラ州を訪問した後に、NHSRCL、インド政府、日本政府に貴方が提出した新幹線プロジェクトに関連する報告書のコピーを共有することの要請

参考：2018年12月7日と8日、グジャラート州、2019年1月22日と23日はマハラシュトラ州のあなたの訪問及びムンバイ - アーメダバード高速鉄道（MAHSR）プロジェクトにおける違反と関連問題に関する2018年12月27日の貴方の手紙。

拝啓

2018年12月7,8日のグジャラート州への訪問の後、貴方は2018年12月27日付の手紙を私たちに送り、私たちは、私たちが貴方に提出した詳細と書類を国家高速鉄道会社と他の関係当局に共有するとの要請に同意しました。貴方は、彼らからの返答や返事を受け取ったのかもしれませんが。そのような詳細と文書の共有は、影響を受けた関係のある村人、これらの分野で活動している組織、そして私たちが提起する懸念に、タイムリーに、透明性を持ち、そして包括的に取り組むのを容易にすると私たちは期待しました。

訪問中のあなたとの直接の面談で、私たちは新幹線プロジェクトエリアで活動している他の組織や影響を受けた人々と共に、MAHSRプロジェクトの実施によって生ずる環境と社会の両方の影響に関連する露骨な違反に関する問題と懸念を提起しました。私たちはまたあなたに私たちの以下の表明を提出しました、そしてそれらも私たちはあなたに直接説明しました。

A. 2018年7月9日：新幹線 - 「暴力、絶対的な力の象徴」すなわち「弾丸列車」 - インド政府への最初のいくつかの弾丸(箇条書きの)質問：

- 外国政府機関が環境協議に参加しているのにインド政府の MoEF & CC（環境森林保護 & 気候変動省）が欠席しているのはなぜですか？
- 継続中の協議会は、環境問題の必要性を認めています。では、なぜインドの環境法と MoEF & CC（環境森林保護 & 気候変動省）がその過程で何の役割も果たしていないのでしょうか。

- MoEF & CC（環境森林保護&気候変動省）と土地環境法は、JICA に抵当権を定めますか。または、これらはこのプロジェクトの suo moto(裁判所職権)の犠牲にされますか？

B. 2018年8月15日：ムンバイーアーメダバード高速鉄道プロジェクト (MAHSR) における日本の投資家 (JICA) ガイドライン違反

C. 2018年9月5日、鉄道委員会 (2014-2015) は、新幹線プロジェクトは財政的に実行不可能であると述べた。何で誰の費用で？誰のため？

ご存じのとおり、このような影響の大きいプロジェクトは、プロジェクトの影響を受ける地域の人々だけでなく、日本の市民を含む世界全体のコミュニティにとっても重大な関心事です。私たちは、環境保護と社会正義に関連する普遍的な人権、原則、および法律を守らなければなりません。

貴方がプロジェクトに影響を受けたこれらの分野で活動している人々や団体及び私たちから寄せられたすべての情報と共に詳細なレポートを国家高速鉄道会社、インド政府、日本政府に提出したことを私たちは知っています。報告書はプロジェクトの影響を受けた人々や私たちを含む地元の利害関係者からの情報で作成されているので、私たちは貴方に報告書のコピーを提供するように要請します。2019年6月10日付けの書簡が国家高速鉄道会社の取締役社長に送付しましたが、まだ返事はありません。

私たちはさらに、貴方のグジャラート州とマハラシュトラ州への訪問中に、私たち/プロジェクトの影響を受けた人々が提起し、直接話し合った懸念に対処するために、あなたが計画した将来の介入とともに、これまでに貴方やその他の関係当局によって取られた全ての行動を私たちにアップデートすることを要求します。

貴方は、MAHSR プロジェクトの JICA のレビューチームの代表として、すべての手順を徹底的にレビューし、私たちの懸念に対処する責任があります。JICA のガイドラインに従って、違反を是正し、懸念に対して完全に、透明に、そして迅速に対処するために、迅速かつ厳格な行動をとることが今や不可欠です。プロジェクトに影響を与える人々、環境、そして適用される土地の法律を守るために、次の行動方針を決定できるように、その結果と将来の計画について貴方が講じた行動について最新情報をお知らせください。

私たちはあなたからの前向きで素早い回答をお待ちしています。

敬具

ロヒット・プラジャパティ、クリシュナカント、スワティ・デサイ

国家高速鉄道会社 取締役社長にコピーを送る。